

利用が可能です。……ヨシ、ガンバッテなんとかしよう!!(笑い)

イベントなどのPRは

M ドームのPR方法は現状の方法で良いでしょうか。

O イベント情報は広報・新聞によるPRが主な方法ですが、どうも市民に情報が届いていないように感じませんか。

T ドーム正面に案内板がありますが、車で素通りするため目立ってないですよ。案内板も含めて抜本的な見直しが必要です。

大館の輝きを本年も

新しい年を迎え、大館樹海ドームの優美な姿が白雪の中で輝いていることでしょう。

情報化が急速に進み、とかく地域活動が見えにくくなる場合があります。このような時に、大館の地域づくり、特にコミュニケーション・ネットワークづくりには樹海ドームが果たしてきたことは大きな意義があると評価しています。

樹海ドームの益々のご発展を確信しております。



大館樹海ドームアドバイザー
(九州保健福祉大学教授)

小坂 善治郎

M インターネットの利用はどうなっていますか。

Y スマップなど人気アーティストの公演時には多く利用されていますが、ほかは少ないです。

T やはり、テレビの宣伝効果が大きいですね。お金がかかりますが、年間を通してPRする必要性を痛

いほど感じます。

T ヨシ！大きいのを一発当てて、ドームに寄付するか!!(笑い)

生涯スポーツの推進

Y 昨年十二月からジュニア・フットボールなどが中心となり実施されている「活き活きスポーツフェスティバル」には、多くの市民が気軽に参加し、いろいろなスポーツを楽しんでいます。大変良いムードで、もっと多くの市民が集まるようにしたいですね。

O 将来的には、全てのスポーツが一緒にドームで出来るようになり、市民が毎週一回は参加できる健康推進の場となれば感激です。



チームワークで

N 筑波大学の指導で行われている茨城県大洋村の例は、テレビで放映され強烈なインパクトを与えられました。

T 高齢者に合った筋力トレーニングで健康の保持を図り、医療費の抑制にまで波及したものです。

見習いたくなります。

N トレーニング設備とトレーナーが必要になりますが、生涯スポーツ推進の一環としてドームで実施したい気持ち湧いてきます。

O 来年度から学校週五日制が実施されます。学習の場の一環としてスポーツ活動にプラスとなるようにしたいですね。

H ドームで過ごしたひと時が楽しい思い出として記憶に残るようにしたいと思っています。

M 皆さん、今日は楽しく語っていただきました。新春放談ですが、ぜひ実現させたいものです。今年も、スタッフ一体となり頑張ります。

1~3月の主なイベント

- 1月12日~14日
第4回樹海ドーム杯全県フットサル大会
&レディースフットサル大会
- 1月23日~3月13日
JUKAI DOMEミニテニス教室 2002
- 1月27日
県北フットサル大会
- 2月10日
スノーバトル2002 in 大館樹海ドーム
~第4回秋田県小学生雪合戦大会
- 2月17日
ラグビーフェスティバル2002
- 3月2日~31日
J-DOME ゴルフスクール02
- 3月26日~31日
北東北親善高校野球 in ドーム

樹海ドームについてのお問い合わせは

☎45-2500 FAX45-2220

ホームページ <http://www1.sphere.ne.jp/j-Dome>

Eメール j-dome@mbe.sphere.ne.jp